

消費税10%「困る」9割

消費税増税「困る」「困らない」を聞いたシールアンケート
 17〜30日、東京都板橋区・ハッピーロード大山商店街



政府狙う増税まで1カ月 商店街シールアンケート

安倍自公政権が強行しようとしている10月1日からの消費税10%への増税まで1カ月。多くの国民は、増税を容認したのでも、賛成しているのでもありません。東京都板橋区のハッピーロード大山商店街で本紙が実施したシールアンケートでも増税を「困る」と回答した人が9割。「生活の見通しがつかない」「消費税は上げなくていい」など切実な声が次々に寄せられました。

(社会部取材班)

自民党員も

アンケートは消費税増税に「困る」「困らない」の二者択一。

病院帰りの金子政子さん

(72) 11年金生活も「困

る」にシールを貼り、「こ

れ以上消費税が上がったら

やっていけない」と嘆きま

す。「月13万円の年金から

医療費や光熱費なんかを引

いたら、食費は夫婦2人で

1日1000円。肉や果物は誕生日とか特別な日だけ。工場で職人として働いてきた夫の蓄えがあるから何とか生活している。増税なんて本当に腹が立つ」

夫婦で買い物に来ていた男性(68)は「生活費の出費が大変になる。ポイント還元なども今だけのものでし、増税にともなう複数税率も複雑で難しい。姑息な手だと思つ。安倍政治では今後の生活の見通しがつかない」と不安をもらいます。

板橋区内で商店を営む女性(37)は「複数税率がややこしい。10%なのか、8%なのか。レシは新しくしたんですが、困っています」。

フリーターの男性(25)

板橋区は、食料品を購入する際、現行8%の今でも値引き商品を探すことが多い節約生活の中で、食費がさらにかさむことを心配しているといいます。「食料品は税率据え置きでも、ファミレスとか外食は引き上がるから、回数を減らさないといけない。テイクアウト(持ち帰り)ははっきりになってしまつかも」

自民党員という男性(64)

は、年金だけでは生活できないためアルバイトもしています。「困るに決まっています。消費税は上げなくていい」(15面につづく)